

かなや明恵峡温泉の今後のあり方（運営方法等）について

企業等の皆様と「対話」を実施します！

～サウンディング型市場調査の実施～

有田川町では、多くの方に利用して頂いている温浴施設「かなや明恵峡温泉」のこれからのあり方を検討している中で、施設の修繕の必要性や運営方法の見直しについて、本町の人口や財政力などを踏まえ、市場の動向や民間事業者の意向等を把握するため企業等の皆様との対話を実施します。

今後のかなや明恵峡温泉のあり方を検討するために役立てたいと考えておりますので、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

対話の実施詳細

- (1) 実施期間 : 令和6年3月18日(月)～6月7日(金)/延長しました
- (2) 時間と場所 : エントリーいただいた企業等の皆様とそれぞれ協議し決定します。
- (3) 対象者 : 企業等の皆様（事業の実施主体となる意向を有する法人、若しくは法人のグループ）
- (4) 対話の内容 : ①かなや明恵峡温泉のあり方について
②運営手法について
③観光拠点施設としての機能について
④事業参入の条件について
⑤事業参入の可能性について
- (5) 実施方法 : 直接面談形式
- (6) 参加申込 : 別紙「エントリーシート」に必要事項を記入のうえ、Eメール添付またはFAX等でお申し込みください。
- (7) 現地見学会 : 実施を希望する場合は、エントリーシートに希望日をご記入ください。
日程調整後、それぞれ対応させていただきます。

かなや明恵峡温泉の今後のあり方（運営方法等）に関する

サウンディング型市場調査実施要領

1. かなや明恵峡温泉のあり方（運営方法等）に関するサウンディング型市場調査

2. 調査の背景

平成 14 年 10 月にオープンしたかなや明恵峡温泉は、長年にわたり地域の人々に癒しを提供し健康づくりの場として多くの人々に利用いただいている温泉施設です。建築から 20 年が経ち建物や設備など多くの部分が老朽化してきていることや、利用客数の減少、さらには維持管理費の増大により独自の収入源では採算をとることが出来ず、町費を投入することでなんとか成り立っている現状です。

このたび、このような現状をふまえ、かなや明恵峡温泉の持続可能な運営方法等を検討することになりました。

3. 調査の方向性

かなや明恵峡温泉の今後の持続可能な運営方法について、民間事業者主体による運営を実現するために必要なことについて最大限検討を加え、PPP 手法による施設の整備・管理運営を模索します。

調査にあたっては、PFI 法に基づくコンセッション等、民間参入による新たな仕組みの活用や、有田川町の観光拠点施設としてあるべき姿を自由に意見交換することとします。

4. 留意事項

（1）参加の扱い

サウンディングへの参加実績は、事業者公募における評価の対象となりません。

（2）費用負担

サウンディングへの参加に要する費用については、参加企業等の負担とします。

（3）追加対話への協力

必要に応じて追加の対話を行うことがあります。

（4）結果の公表

サウンディングの実施結果は、後日概要を町 HP で公表します。

公表にあたっては、事前に参加企業等に内容の確認を行います。また参加企業名は公表しません。

5. お問い合わせ先

住所 : 〒643-0153 和歌山県有田郡有田川町中井原 136-2
担当部署 : 有田川町産業振興部商工観光課
連絡先 : 電話 (0737) 22-4506 FAX (0737) 32-9555
Eメール n.syokokanko@town.aridagawa.lg.jp

6. 施設の概要

所在地	有田川町修理川 81-3
敷地面積	8,435.36 m ² (法面含む)
用途地域	都市計画区域外 (用途地域指定無し・区域区分非設定)
規模	地上 1 階建 (延べ床面積 1597.96 m ²)
設置	平成 14 年 10 月
施設概要	入浴施設 (内湯、露天風呂)、休憩室、食堂 (契約業者が運営) など
運営方法	公営運営
営業時間	11 時~21 時、毎月第 2 金曜定休日
アクセス	阪和自動車道有田 IC より約 20 分。 JR きのくに線藤並駅からタクシー等で約 30 分。
利用料金	大人 (中学生以上) 700 円 小人 (4 歳~小学生以下) 400 円 身体障がい者手帳保持者、療育手帳保持者、精神障がい者保健福祉手帳保持者は大人 350 円・小人 200 円
利用者数	86,228 人/令和 4 年度実績

入浴客数推移

